

(対象期間：2022/6/13～2022/6/17)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年6月17日)

【株式市場】

10日に発表された5月の米消費者物価指数が事前予想を上回る上昇となったことなどから、大幅な利上げへの警戒感が高まり、米国株が急落、13日のインドネシア株式市場もコモディティ関連銘柄を中心に下落しました。14日はセンチメントの回復が見られ上昇しました。政府はパーム油の輸出促進を目的にパーム油の輸出の最高税率を下げたため、パーム油関連株は堅調となりました。週末にかけては、世界的に景気後退への懸念が高まる中、インドネシア株式市場においてもリスク回避姿勢が強まり下落しました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

2022/6/10	2022/6/17	変化率
7,086.65	6,936.97	-2.11%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年6月17日)

【債券市場】

13日のインドネシア国債の利回りは、米国の大幅な利上げ観測の高まりから大幅上昇（価格は下落）となりました。14日に行われたイスラム国債の入札の応募額は前回から減少し、発行額は政府の発行予定額を下回り低調でした。債券利回りは投資家のリスク回避姿勢が強まる中で、更に上昇しました。17日は、前日の欧米市場で景気後退懸念が再燃し、株式市場が大幅に下落するなどリスク回避姿勢が強まったことから、インドネシアの債券利回りは上昇しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2022/6/10	2022/6/17	変化幅
7.205	7.479	+0.274

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年6月17日)

【為替市場】

13日、米国の大幅な利上げ観測の高まりから米ドル高となり、ルピアは下落しました。その後も株式・債券市場からの外国人投資家の資金流出などを背景に続落し、週末にかけて下げ足が加速しました。インドネシア中央銀行（BI）は米国利上げ後のルピアの下落を受けてルピア買い介入を行ったと述べました。また、スリ・ムルヤニ財務相は米国利上げの影響については、商品価格の上昇と経済回復を受けて歳入が増加するなど財政は安定的であり、インドネシアの健全な財政状況により軽減されるだろうと述べました。ルピアは前週末比対米ドル、対円ともに下落しました。

2022/6/10	2022/6/17	変化率
0.9193	0.9086	-1.16%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。